



■指定年月日

大正 10 (1921) 年 3 月 3 日

■所在地

札幌市 円山・札幌市 藻岩

■お問い合わせ

石狩森林管理署 ☎563-6111

※藻岩・円山登山道に関すること

札幌市建設局みどりの管理課

☎211-2536

※藻岩山展望台に関すること

札幌振興公社

☎561-8177

・藻岩山



概要

・藻岩山

山頂・標高・・・531m

指定区域・・・284.68ha

・円山

山頂・・・226m

指定区域・・・43.9ha

◎天然林

円山・藻岩山の森林は、開拓使時代から保護され、「原始林」と呼ばれてきた。しかし、実際は原生林に近い天然林で、^{れいおんたい}冷温帯の^{けいこくそ}渓谷沿いの森林を代表するカツラ林が発達する一方、北方針葉樹林の要素もみられる。

明治 25 (1892) 年に日本各地を訪れたハーバード大学の高名な樹木学者サージェントより「土地の気候、山の大きさの割に極めて樹木が豊富で世界的にもめずらしい」と評価を得た。北海道大学の^{たてわきみさお}舘脇操によると、藻岩山一帯の植物は、414 種に及んでいる。

◎新種の発見

札幌という大都市のなかであって、市民に親しまれ、保護されてきたことは、天然記念物としての価値をいっそう高めている。

両原始林とも、大正 4 (1915) 年、北海道庁が原生天然保護林に指定、同 10 (1921) 年には、天然記念物に指定された。

札幌農学校は、この山で植物学の研究・実習等も行った。そのため多くの^{しんしゆ}新種が発見され、この山にちなんだ学名をもつ植物に、モイワナズナ、モイワボダイジュ、モイワシャジン、モイワラン、ヤマハナソウなどがある。

世界的にみて、わが国の 1 人当り森林面積は小さいという。しかし、^{しいき}市域のうち天然林をもっている例は少なく、ほとんど^{きせき}奇跡といつてよい。



空中写真を立体表示 Esri 社 ArcGIS にて作成